

環境衛生課からの お知らせ



吉備庁舎 環境衛生課
清水行政局 建設環境室
52-2111
ごみ分別すれば資源

小型家電・乾電池リサイクルの現場

小型家電と乾電池のリサイクル現場を見学してきましたのでそれについてお話しします。

小型家電リサイクル

皆さまは小型家電の回収ボックスをご存じですか？現在、有田川町内には各庁舎とALEC、金屋文化保健センターにそれぞれ1個の合計5個を設置しています。このボックスの投入口の大きさが15cm×30cm、奥行きが40cmですので、このサイズよりも小さい電化製品がリサイクル



手作業によるパソコンの分解・分別の様子

の対象となります。パソコン(PC)も例外的に小型家電として処分することができます。



最終製品のサンプル

皆さまから出された小型家電は、まず町職員により分別されます。区分は(1)携帯電話など(2)PC本体(3)高品位品(4)中品位品の4段階です。(3)の高品位品はデジカメ、ゲーム機、電子辞書などです。その他ほとんどの品目は中品位品として処理されます。

これらの廃棄物は兵庫県三木市にあるリサイクル施設へと送られます。そこでは鉄、銅、アルミニウムなど一般的な金属をはじめ、各種レアメタル

までを得るために、さまざまな工夫を凝らした機械で処理を行っています。最終的には品目や大きさにより20種類ほどの原料となり、それぞれを使う事業所へ引き渡されるそうです。

乾電池リサイクル

次に回収された乾電池がどうなるのかも見てきました。地区の集会所やゴミステーションへ集められた乾電池は町職員の手によって収集され、その後岡山県倉敷市にある製鉄所に運ばれます。

製鉄所へ運び込まれた乾電池はふるいや選別機で異物を取り除きます。しかし、最近多い充電式電池(ニッケル水素電池)は一般の乾電池と形状が全く同じであるため、人の手による選別でなくては取り除け



電気炉から取り出された溶鉄

ません。選別された乾電池は製鉄材料の一部として利用されます。スクラップをメインの材料として、ここへ2〜3%の割合で破碎していない乾電池をそのまま配合します。混ぜ合わされた材料は電気炉で溶かされ、溶鉄と残渣であるスラグに分けられます。溶鉄はそのまま鑄造、圧延の工程を経て、鉄筋棒として製品化されます。

乾電池を捨てるときのポイント

- ・二次電池(バッテリー、充電式電池など)は販売店へ
- ・ボタン電池、コイン電池も販売店へ
- ・異物(ライター、電球、空き缶、カミソリ)は絶対に入れない
- ・袋から出して乾電池だけを入れる



小型家電や乾電池は燃えないゴミとして出してしまうと破碎されて埋め立てられるだけですが、きちんと分別して出せば新しい命に生まれ変わるのです。皆さまのさらなるご協力をよろしくお願いいたします。